

ドール、村上農園、デリカフーズ

「機能性」取組み続々

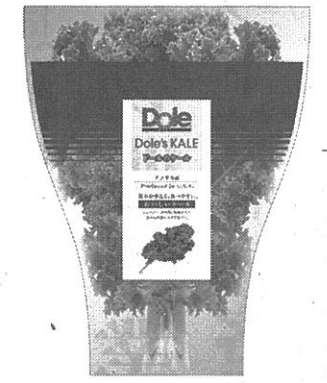
4月から「機能性表示食品」制度がスタートしたが、青果物では条件のハードルが高く、また申請がない。しかし、消費者の健康志向が高まる中、野菜の機能性や栄養価の高い野菜などへの関心が高まっており、青果関連各社では新商品投入などの対応も。ドール（東京都千代田区）では米国で注目されているケールを発売、村上農園（広島市佐伯区）では「マルチビタミンB12かいわれ」に「栄養機能食品」表示を導入、またデリカフーズ（東京都足立区）では独自の「野菜のチカラ」の表示を行っていく。

苦味が少ない
米国産ケール
ドール

ドールは苦味が少なく食べやすい米国産の「ドールのケール」を全国のスーパー、百貨店で販売。ケールはβカロテン、ビタミンC、カルシウム、マグネシウム、食物繊維などの栄養素をバ

ランス良く含み、同じアブラナ科のキャベツと比べβカロテンは59倍、カルシウムは約5倍、マグネシウムは約3倍となる。日本では青汁などに使用されることが多いが、ドールのケールは果物と

バランスに優れた緑黄色野菜「ケール」



合わせたスムージーや炒め物、スープ、味噌汁など幅広く使用できる。ドールのほか、「冷凍スムージーキットグリーン」（1800円、6000円）、「カットサラダケールサラダ」（1200円、298円〜348円）を販売し、さまざまな楽しみ方を提案する。

「栄養機能食品」に
カイワレ商品
村上農園

村上農園は、ビタミンB12を含有した野菜「マルチビタミンB12かいわれ」を、「栄養機能食品」として15日から発売した。今年4月の食品表示制度の変更に伴い、「栄養機能食品」の表示対象が加工食品と鶏卵だけでなく、生鮮食品にも広が

「マルチビタミンB12かいわれ」の新パッケージ
004年に発売を開始。今回の栄養機能食品の対象拡大を受け、商品パッケージに「ビタミンB12は、赤血球の形成を助ける栄養素です」の表示を追加し、新パッケージにて販売を開始した。



「マルチビタミンB12かいわれ」は、本来野菜には含まれないビタミンB12を特許技術によって安定的に含有させたカイワレアイコン。ビタミンB12はレバーなどに多く含まれる、赤血球の形成に関わる必須栄養素だが、肉を避けがちな高齢者やダイエット中の人、菜食を好む人では不足のおそれがある。

本商品は、ビタミンB12を摂取できる機能性の高い野菜として同社が2

「マルチビタミンB12かいわれ」の新パッケージ

004年に発売を開始。今回の栄養機能食品の対象拡大を受け、商品パッケージに「ビタミンB12は、赤血球の形成を助ける栄養素です」の表示を追加し、新パッケージにて販売を開始した。

「野菜のチカラ」表示
デリカフーズ

デリカフーズは都内で「第4回 Farm to W

「野菜のチカラ」の表示の取り組みなどを紹介した。

グループのデザイナーフーズ・市野真理子取締役は講演で、野菜の機能性の表示について「1成分表示では本当の機能性が表せない」と問題点を指摘。グループの考える表示のポイントとして、「これまでに成分分析を行ってきた野菜2万5000検体のデータを

「野菜のチカラ」表示
デリカフーズ

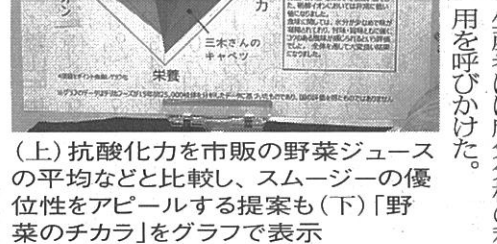
デリカフーズは都内で「第4回 Farm to W

も可能だ(写真下)。こちらはスーパー等の青果売場で販売促進の表示として提案していく。

このほか季節や野菜の色による野菜のチカラの違い、サラダに使用する野菜の組み合わせによって抗酸化力が異なることなども説明。実需者のニーズに対応した表示、メニューづくりができることをPRするとともに、生産者には成分分析の利

「野菜のチカラ」表示
デリカフーズ

デリカフーズは都内で「第4回 Farm to W



(上) 抗酸化力を市販の野菜ジュースの平均などと比較し、スムージーの優位性をアピールする提案も(下)「野菜のチカラ」をグラフで表示